



家傳  
太古清真符集

全



増字消息性素

凡消息者通者信糖香委香通

所遠酒長途不波何事人間

用達之基起生香恬度紙香委

取扱交字一筆一物一書諸工欲達

シユ キウ フミ アガナヒト フデ カスフミ カキ ヒラク アグ イタル





振作は月名林澄ら用入者中

見家甚備有者此是極堪

お用は月名林澄ら用入者中

未残者難去秋は強く南風は

冷相権成涼炎九月季秋冷氣相

薄朝は相象十月言集冬冷十月

霜は冬氣向寒九月十月夜中吹

徳多主二月柳月寒中甚冬最冬

之節は海防の海防

よき様御希御益御機操

カミシヤウ ヤウ オシ マヘ ヤウ エキ ヤ オシ ハタ キラフ

独身遊ち遊はる成る人高公候

貴君様法自分心多者様を所

中身其方各務も御念御奉

勇健仕進安全本寧御膳法固

幸身其方各務も御念御奉

糸多者中遊はる成る人高公候

重んずる夜天慶生御賀祝是海

是過分之至御徳也御徳也

又公家武家亦名御徳也御徳也

御代代官御代御代御代御代

コホリ ヨカハル ツカサ メ シロ モロク エキ ヒト シイタル ミツカラ クニ

代國私順地以在商主動公務

此物仕此物一匪重多之

清國使臣清相海軍權附

清者新在癸亥即見

首尾總結據上意

定其命清志不淡

恭仰正心其相

此物仕此物一匪重多之

去年先行有先

外迎本即秋

外迎本即秋

音

五

映今迄明内候の候日  
且も... 光原... 来... 猶更... 独...  
カッ... ムキ... エッ... ゼン...

海貴... 各... 何... 牌... 本...  
トク... イ... ナ... ア...

背





新編

七

即時新刊... 後  
 多會... 後  
 清... 後  
 毛... 後  
 油... 後

心... 後  
 弟... 後  
 推... 後  
 移... 後  
 馬... 後

新編

七

少歳豪傑人看年死後元人意用

發海身智利根家業骨折梅開

友勵海身骨痛復後物勸異後未

勸宜美用七使制苦英陸七費東

吟味旁數心筆清法研裁深極連

平生集者高貴安理人金銀得

度不京氣七德不認各貨傷有卷三

見此徒文源七犯相以多形送快

淺海智高智人金理徒以紅拂身忽在

二毒有物物節夜七練過深城心

心之同遠運速チハクニマシチハクニマシチハクニマシ他入タノイ運ウツ舟フネ

有旨海田烟金地ウツギミナ利判リハ文德ブン

純廣相改ジュンクワ海出カイシュツ船順センジュン風香フウカウ海カイ

耐入ナシ津ツ絲シ宿シュク怒ド是シ空クウ駕カ為ニ意イ用ヨウ

意為物運イニモノウツ送持ソウヂ運速ウツ津浦ツ海カイ

以海イカイ術道ジュツドウ運ウツ小帳コチヤウ日ニチ在ヤリヒ人ヒト運ウツ津ツ

船セン浅セニ深アサス津ツ運ウツ未ムナシ去キ津ツ於オ中ナカ島シマ

打ウチ續ツク途ツ津ツ不フ因イン針シ其シ常ジョウ不フ於オ津ツ

文フム通ツウ運ウツ送ソウ持ヂ運ウツ津ツ海カイ

海物カイモノ公コウ家カ友ユウ相サウ傳デン即ソク津ツ海カイ

海

九













院あん字じ清せい城じやう身みん年ねん報ほう滅めつ途と陽やう寸すん

志し寸すん情じやう下げ迎いよう正せい智ち策さく別べつ出しゅつ法ぽう池ち乞き

餐さん魚ぎよ味み内ない院いん賄わい也や初しゅ敷しき寄ぎ坊ぽう

叢そう好こう抄しやう貴き執しやく汗あせ味み飲いん人にん浦うら島しま与よ

動どう辨べん能ねい与よ性じやう不ふ相しやう智ち美み亦よく半はん方ぽう端たん

不ふ取しゆ取しゆ取しゆ縁えん色しき縁えん組ぐ結けつ納なつ者しや取しゆ結けつ

婿しよ姻いん次じ云いん相しやう結けつ平へい産さん妻さい産さん延えん生しやう

女にょ生しやう嫡てつ子し其き順じゆん具ぐ女にょ陳ちん行けい一いつ重じゆう礼らい

夫ふ更しやう孺にょ子し云いん佛ぶつ達たつ者しや養やう育いく月げつ邊へん疾しやく

家か智ち世し相しやう遠えん云いん藏ざう屋い爰えん地ち南なん道だう進しん妻さい

イヘ ヒキユル ナカレ アヒ ソムク ツチ クラ オシ ヲラヌル トコロ ニル イタル ミナ

清

倭酒の年分相續希上類上

時令 賦も 務は 以 格 物 段

清 獲 美 成 出 世 多 抽 也 扱 又 宿

位 本 中 納 云 夫 議 中 將 少 的 侍 位

一 果 入 位 之 緒 定 更 迎 國 之 賦 主

歴 々 御 會 越 所 然 上 有 瑞 御 大

刀 腰 巾 馬 一 匹 法 格 者 二 種 一 何

頂 戴 亦 順 如 新 申 上 中 申 事 均 以

將 之 儀 亦 不 由 始 有 本 重 及 向

不 具 以 上 仍 留 如 將 取 付 意 亦 人 中

イナヤツナヘル ムムアアル シキリシカモ ヨレケル アコマシハル シシキヨイル

今半に宿願の級貴を著す

宿願の級貴

前御中地界

物去身去人寂を以て絶

云浪客の月名を絶つる文

甚多致先人概書記乎

續消息性来

最希先教其如地滞度及長

宿願の級貴

明方流法有由深に修得懐後

先觸の宿願の級貴



録

一

速存生存命年會兵淋瀝

集大院欽法法使見活老

後生得宅及善堂中肯抽紙後

後明法冠老象智象又智惠文

實君子想順決男七卷七終流

音送先法情願月情為名添運電

連座空藩文育我為初權字記

門通寒樓居為熱放場零為理

屋本伏紙夜之思管雨鉅慈養

如賄修燈為端元來由來海世家

續

三

シヨ マカナヒ タカラ カロク ウスシ テン モト ヨリ ヨシ キタル ワタル ヨ イヘ





言

五

海内天子國奉世名譽達人

本勢強公心紀行權將

南考中紀本審洋維以者以痛

氣名素神國定生名以人神文

抑國與判姓名宛聖禮公審類審

妹社若度法為神元後類由漁者

發激名名為修神法進獻其然

弟地名松方威安法相其瑞

根神像靈靈公奉法其起名

追名名信經續綱名名海邊

大フ ヨシ ナ サトル ヨム キヤウ ヨム ヨム アイ オツル ナミダノチヨ アス



孝行深好貴人...  
タナゴロ マコトコロ...

喜悲勝...  
イツクシムカシム...

理本...  
コトハリ イデキタル...

以奉納...  
オコヒサグ...

世風雅...  
ヨ カゼ...

恨不...  
ウラミ...

重方...  
ラシ...

分以...  
ニ...

漢...  
イン...

生捕...  
セイ...

讀

七

別強を際之に類働者有之者不  
思候之懐我過奇其奇懐の如處況  
虚之流事之難説述高名四海群  
猶泰平豊饒万民之收樂世人元人  
終日知識情事多憂知所願を掲掲

徳徳授身授地是分外國実候様候  
也猶代先祖由緒系國感快亦或  
月忠臣忠勤は月利は者行考公  
奇情は命命教命達上國印  
徳書物書籍序法一快令候令由

讀前

糴賣道令盛家申松刺未上服未  
ウリヨ子 バイ セル カフ セイ モ 十カシヤウ セル マイル アグルラカリマイル  
 道遙洲廻若途化於燈檠批判江海  
アツブ ハルカ タケ スラフ エラスノブ ツシル サウ セリ セシ シメスワカキギヨ ツヘ  
 刺批檠後令有燈檠板河形刺漆様  
ケル シメス ケカス コスル アス ハツタ ホシ ヤ イメ オオチラ ホル キギル ロウ  
 潮逐一掃境一境洋俗情用亦抑  
ゼレ オフ ヒトツラガミル ヒトツミル フカニ カリル カリ モチエ ナガシ  
 尚保筆收返進令返却宛嘆  
トメル ニン サイヒ ヒタヨリ カシ スム トイ カシ カツテ コト カツ

消息性来译释

消息 セウシ 消息の想石也  
 青化 アヲ 青化はるん  
 館上 カンジョウ 館上の事

香物 カウモノ 香物の事  
 芳雲 ホウウン 芳雲はるん  
 芳筒 ホウツツ 芳筒はるん

芳笺 ホウセン 芳笺はるん  
 好酒 コウシュ 好酒はるん

放閑 ホウカン 放閑はるん  
 長閑 チヤウカン 長閑はるん  
 森 モリ 森はるん

毒消

表の目如よく 爲者 菊池 後

山内健 安令 安泰

忙健 安寧 世固

息災 公家 忍

収 珍重 忍

大慶 忍賀 収

満足 心量

候 世量 収

候 世量 収

契合 首尾 収

備







人我吸納 ひとがくはく **兼會** あひまひ **馳毛** ちまう あふみのふをきと日どく

**拙完** つたひ 拙死のくちを我を **獨尊** ひとりたう あふみのふをきと日どく

**遠南** とほなん **遠屋** とほや あふみのふをきと日どく

**窮屋** きうや **疲勞** ひろう **業** わざ

**別荘** べつしやう **常流** じやうりゆう

**修復** しゆりゆう **造賞** ぞうじやう

**速立** すみだち **移造** うつぞう

**紫榮** むらさき **裁** さい

**家智** けあち

**遺跡** いせき **嫁媾** よめごう



人算の親 **妊** 妊婦 **帯** 帯 **産** 産

**産** 産 **着冠** 又冠 **帯** 帯

**着冠** 冠 **帯** 帯

**文智** 文 **利** 利 **励** 励 **志** 志

**悔** 悔 **油** 油 **悔** 悔

**劫** 劫 **始** 始 **失** 失

**流** 流 **穿** 穿 **味** 味

**食** 食 **吟** 吟 **一** 一 **現** 現

**裁** 裁 **一** 一 **現** 現

**金** 金 **持** 持 **不** 不 **景** 景 **和** 和

情

上

山川の面白く推しをり  
字の世の中の体ゆり  
**不整** おれお合縁  
**代文**

代文 推しをり  
**代文** 推しをり  
**代文** 推しをり

今ふは 相違ふ代文  
**貨物** 相違ふ代文  
**舟** 相違ふ代文

舟 相違ふ代文  
**舟** 相違ふ代文  
**舟** 相違ふ代文

代文 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文

**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文

**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文

**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文

**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文

**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文  
**代文** 相違ふ代文

かまびきり かまびきり 焼 やき 志夜 しや 分別 ぶんべつ けいふかやう 彼 か

肉 にく 簡 かん けいせ 助 すけ 妾 めかけ 耐 たえ

船 ふね 納 のう 得 とく 七 しち 覆 おほ 藏 くら あふ 耐 たえ

長 なが 後 ご あひ 横 よこ あひ 間 ま 透 とほ あひ 格 かく 別 べつ あひ 格 かく 外 がい

天 てん 氣 き 歩 ふ 行 こう 晴 はる 白 しろ 首 くび

夕 ゆふ 天 てん 氣 き 歩 ふ 行 こう 晴 はる 白 しろ 首 くび

夕 ゆふ 天 てん 氣 き 歩 ふ 行 こう 晴 はる 白 しろ 首 くび

夕 ゆふ 天 てん 氣 き 歩 ふ 行 こう 晴 はる 白 しろ 首 くび

暮 くれ 夜 よ 更 せい 曉 あけ 宿 しゆく

放 はな 將 しょう 放 はな 將 しょう

際向

同の字の意異なる

素續

素續 素續 素續

身持務まる

世法

世法 世法

世法 世法

行

我他の行ひを

失念

支離

支離 支離

元夕

元夕 元夕

親族

親族 親族

家

者

妻の親兄弟の親

徒類

由緒

由緒 由緒

眷属

眷属 眷属

朋友

朋友 朋友

侍軍

侍軍 侍軍

脚範

脚範 脚範

脚函

脚函 脚函

疎遠

疎遠 疎遠

世音

世音 世音

宵夜

氣之毒

氣之毒 氣之毒

氣之毒 氣之毒

笑止 今も多し終るなり 連珠 海より入るる

歌 舟より入るる 花柳 足成るなり 別名 いなり

花 花御をみる 使 使者をよむ 口 口上

演 口上 舞 舞 口 口上

尊 尊 招 招 本 本

貴 貴 西 西 西 西 西 西 西 西

有 有 有 有 有 有 有 有

若 若 若 若 若 若 若 若

事 事 事 事 事 事 事 事

事 事 事 事 事 事 事 事

國よりある所の **氣分** きぶん 気分 きぶん の形 かたち **病氣** びやうき 病気の びやうき 氣分 きぶん 病気の びやうき 氣分 きぶん

事あるに **金使** かねつかい 金を使ふ かねをつかう **養生** やうじやう 養生 やうじやう 養生 やうじやう 養生 やうじやう

専一 **相愛** あひあい 相愛 あひあい 相愛 あひあい 相愛 あひあい **不復** ふふく 不復 ふふく 不復 ふふく 不復 ふふく

あり **加持** かぢ 加持 かぢ 加持 かぢ 加持 かぢ **祈禱** いのり 祈禱 いのり 祈禱 いのり 祈禱 いのり **以泰** いざい 以泰 いざい 以泰 いざい 以泰 いざい

あり **因公** いんこう 因公 いんこう 因公 いんこう 因公 いんこう **推来** おいか 推来 おいか 推来 おいか 推来 おいか **娑婆** しやば 娑婆 しやば 娑婆 しやば 娑婆 しやば

あり **竹屋** たけや 竹屋 たけや 竹屋 たけや 竹屋 たけや **拙者** せつしや 拙者 せつしや 拙者 せつしや 拙者 せつしや

あり **悻** せう 悻 せう 悻 せう 悻 せう **伯父** はくふ 伯父 はくふ 伯父 はくふ 伯父 はくふ **叔母** しやくぼ 叔母 しやくぼ 叔母 しやくぼ 叔母 しやくぼ

あり **逆男** さかおとこ 逆男 さかおとこ 逆男 さかおとこ 逆男 さかおとこ **甥** せう 甥 せう 甥 せう 甥 せう

あり **常孫** じやうそん 常孫 じやうそん 常孫 じやうそん 常孫 じやうそん **玄孫** げんそん 玄孫 げんそん 玄孫 げんそん 玄孫 げんそん **汎智** はんち 汎智 はんち 汎智 はんち 汎智 はんち

あり **腰智** こしち 腰智 こしち 腰智 こしち 腰智 こしち **舅姑** きゆうこ 舅姑 きゆうこ 舅姑 きゆうこ 舅姑 きゆうこ

精言

又妻の父母 **推察** 推量 **推量**  
またまのふぼ **すいさつ** **すいりやう** **すいりやう**  
をものりあう **すいりやう** **すいりやう** **すいりやう**

**案内** **案内** **案内** **案内**  
あんない **あんない** **あんない** **あんない**

**候** **候** **候** **候**  
あき **あき** **あき** **あき**

**魚外** **魚外** **魚外** **魚外**  
いさな **いさな** **いさな** **いさな**

**貴靴** **貴靴** **貴靴** **貴靴**  
たか **たか** **たか** **たか**

**釘** **釘** **釘** **釘**  
くわい **くわい** **くわい** **くわい**

**町** **町** **町** **町**  
まち **まち** **まち** **まち**

**町** **町** **町** **町**  
まち **まち** **まち** **まち**

**町** **町** **町** **町**  
まち **まち** **まち** **まち**

**町** **町** **町** **町**  
まち **まち** **まち** **まち**

**町** **町** **町** **町**  
まち **まち** **まち** **まち**

人とも **目道** 乃がまふ **誘** さそふ **改曆** あらた

ありき **津康** よけ **有池** よたきだ **改曆** あらた

あり **屋船** やぶね **深限** かぢり **休船** やすみ

あり **佳例** よた **赤儀** あかぎ **祝詞** いわい

あり **志納** しな **上巳** じょうし **祝詞** いわい

**端午** たんご **七夕** せち

**朔** しつ **重陽** じゅうやう

**秋祥** あきさう **玄緒** げんしゆ

**歳暮** さいぼ **節會** せつかい

**禊祓** しけ **七種** しちしゆ

傳

廿



ねぐくわらぬ夜をくらひく久しきたりあり  
せうまのふとぎやうたひとよけまをほしるえ

のふゆく人形のおま **懺** 婦人軍装をぬる  
ある夜もまとのを **懺** 七久しきたりあり

織女の二ツの星あまの川を隔てあり七月七日の  
夜牽牛あまの川渡り織女ふ合とのふよりけあま

七月の魂 **霊胎** 七老婦  
あまを **精霊會** 七月の魂 **霊胎** 七老婦

供物 供ひをある **初穂** のあへみ穀の類あま  
と焼あり **初穂** このまが先その穂は初穂よ

そま入たるより今と **焼香** 香焚たぐ **看經** をる  
あも此名張よぶあり **焼香** とのん衣 **看經** をる

とのふ字あてぬふ **回向** めがむむふとのふ字あて死者の忌  
はく入るの名あり **回向** 日の暮あり今と張よみ供と

まろゆ **焼行** とうちとあふ **配膳** 室計うらうふあ  
みりゆ **焼行** とよむあり **配膳** 膳はよたふたやうふ

世話をまるとありて **餐飯** たんどの **淫梅** 淫り  
女中ふあわくあり **餐飯** のをば **淫梅** 淫りの味と

けふふ法と梅の礎と **料理** 埋ひまぢと料理のたるえ敷を  
月ひゆ名初のふあり **料理** 刺ひは肉ふまふ庵下張

くまをたぬはれをうわすねがけのむき物  
ほろもこのむき合味をそのむきとみれり

亭子 ていし  
とまはる

物 もの  
主人のからうふあつてはるる  
今の系帯も腰にたはる人の人

精 せい  
合根とあ  
かりて年合の

用 よう  
を傳 をでん  
むより又ふ人物はるる

物数寄 ものかずよ  
お

味 あじ  
味 あじ  
味 あじ  
味 あじ

貴覧 きざん  
あそび

合 あひ  
合 あひ  
合 あひ  
合 あひ

味 あじ  
味 あじ  
味 あじ  
味 あじ

酒宴 しゆえん  
酒宴 しゆえん

船町 ふねまち  
船町 ふねまち

沈醉 ちんざい  
沈醉 ちんざい

水 みづ  
水 みづ  
水 みづ  
水 みづ

尾籠 おなご  
尾籠 おなご

忘行 わしやう  
忘行 わしやう

尾 お  
尾 お  
尾 お  
尾 お

忘行 わしやう  
忘行 わしやう

面 めん  
面 めん

面 めん  
面 めん  
面 めん  
面 めん

洗石 せんせき  
洗石 せんせき

洗石 せんせき  
洗石 せんせき

万指 まんさし  
万指 まんさし

万指 まんさし  
万指 まんさし



下けること **は贈下** 贈りの字の合 **送下** 下を

下を贈る **献上** 二文字のひん **進上** 進上

進上 **進賢** 賢の字の合 **進級** 進級の字の合

進級 **進少** 少の字の合 **寸志** 寸志

寸志 **入功** 功の字の合 **行列** 行列

行列 **貴賤** 貴賤の字の合 **群集** 群集

群集 **法事** 法事の字の合 **習** 習

習 **野** 野の字の合 **廉将** 廉将

廉将 **不取教** 不取教の字の合 **内室** 内室

内室 **綢布** 綢布の字の合 **繕納** 繕納

結ぶる須細あり  
あまのの養み難む  
**廢火** あきらむ  
**豆身** せふまら

酒券状 けけん **系圖** けいづ  
酒券の書物あり  
世俗の系圖

家柄 けがら  
世俗の柄あり  
世俗の柄あり

頂戴 ていざい **拜願** らいがん  
かたみおのせ  
願ふ我物あり

二種一荷 ふたしゆいちがら **後着之時** ごしやくのとき  
酒二樽と  
後着の状あり

後喜 ごき  
あつらひの目あり  
春の陽日

永日 えいじつ **永陽** えいよう  
日あり  
陽日

来陽 らいよう **年功** ねんこう  
是の来陽  
年功あり

忌憚言 きはんげん **薄云** うすぐも **骨** ほね  
あはれ言  
骨あり

敬白 けいびやく **不佞** ふべい  
あやまらざる言  
不佞あり

不道

ふ せん じやうふふふふふ

不具

ふ ぐ ほうき

堅

い けん たいの

腕付

うでづき

泰人

たいじん

浪

なみ

香

か

貴客

きやく

報

ほう

報

ほう

大

だい

報

ほう

荒居氏  
大坂屋氏



大坂屋

公行藏